

包括的女性活躍推進事業【兵庫県明石市】

地域の実情と課題

市内の本社機能を置く事業所の9割以上が中小企業であり、女性活躍への理解が進んでいない状況であるが、中小企業単体の取組は経済的にも困難である。このため本市では、平成27年度から、事業者及び各種団体のネットワーク構築や、事業者及び市民の意識啓発のため研修会等のイベントを複数回にわたり開催してきた。また、平成28年度には女性自身の声を生かした施策に繋げるため、「あかし女性の活躍推進会議」を設置し、当該委員の意見をまとめた政策提言内容に従い、女性活躍推進施策を進めてきている。

目的・目標

- ・商工会議所と連携し、事業主や従事者を対象に研修を実施するとともに、女性の活躍推進のためのネットワーク拡大化に向け、多様な主体によるネットワーク組織『あかし女性応援ねっと』の加入者数を増やすとともに、研修等の充実を図る。(ネットワーク会員数 団体62・個人56)
- ・未来を担う若年層に対し、キャリアデザインが描けるようイベントを行う。(協力事業所数1か所)

事業の特徴

- ・多様な主体からなるネットワークを構築し市内の事業所など地域社会における女性活躍のための取組を支援
- ・女性のさらなる活躍を支援し、実現の加速化を図るため、活躍へ向けた様々な課題をテーマとした意見交換会・研修会を開催

連携団体

- ・あかし女性応援ねっと
- ・明石商工会議所

事業の効果

- ・事業者、人事担当者対象の働き方改革セミナーを開催。座談会では、先進事例のある事業所から実践例を聞くことで、自社での実践への学びに繋がった。また、事業所や分野を超えて情報が共有できる場を作ることで、地域全体の女性の活躍推進に向けた気運の醸成を図ることができた。(意見交換会1回、研修会等4回開催)
- ・女性活躍を積極的に推進する企業を紹介した優良事例集を発行することにより、女性の労働環境の整備に向けて意識啓発が図られた。
- ・キャリアデザイン支援(リコチャレ)イベントを市内事業所と協働して行い、参加者の新たな学びや気づきに繋がった。(イベント1回開催)

今後の課題

市内の本社機能を置く事業所の9割以上が中小企業であり、女性の活躍への理解が十分とは言えない。しかし、取組を展開するにも中小企業単体では経済的にも困難である。このため事業者及び各種団体のネットワーク「あかし女性応援ねっと」を構築し、事業者及び市民の意識啓発のための研修会等のイベントを複数回にわたり開催してきたが、さらに取組を加速させるためにも、①市内の先進事例の取組紹介、②ネットワーク組織の周知、③若年層への取組強化④男性への啓発が必要である。

事業の概要

介護離職防止セミナー



【開催日時】平成30年6月24日（日）

14:00～15:15

【会 場】複合型交流拠点ウイズあかし
学習室704

【参加者数】56名

【内 容】

男女共同参画週間の取組として、一人ひとりがいきいきとあり続けられる社会の実現を目指し、介護離職をテーマとした講演会を実施した。

【まとめ】

介護を仕事と考え、仕事と同じように資源をいかにうまく使うかが大切で、ヒト・モノ・カネ・情報を有効活用することが大切である。突然来るかもしれない介護だが、心構えや基礎知識を持つことで、介護離職を避けることができるということを改めて認識したセミナーとなった。

働き方改革セミナー



【開催日時】平成30年8月21日（火）

13:30～15:00

【会 場】複合型交流拠点ウイズあかし
学習室803

【参加者数】31名

【内 容】

中小企業の経営者及び人事担当者に対し「働き方改革」に関するセミナーを商工会議所と共催し、働き方改革の必要性や先進事例企業の紹介を行い、意見交換会を行った。

【まとめ】

「働き方改革」とは、①その企業に合ったやり方で、②その企業で働くひとたちが自ら取り組む改革であり、ただ、制度を作ったり整えたりするだけではなく、従業員全員が納得して動く、ということが必要だと再認識した。また意見交換会では、自社の問題点を確認、実感できた。

Discovery!!理工系女子ワールド (リコチャレイvent)



【開催日時】平成30年12月25日（火）9:30～16:00

【会 場】キャタピラー・ジャパン明石事業所

【参加者数】28名

【内 容】

本格的に自分の進路を考える前の女子中学生向けに市内企業と協働し「理工系チャレンジ(リコチャレ)」を実施。理系の仕事を体験し、実際に理系企業で働く女性の声を聞くことにより、女子中学生が自分のキャリアについて具体的なイメージを持つ機会を提供した。

【まとめ】

今回初めての実施となったリコチャレだったが、参加者の満足度は非常に高く、全員が「理系への興味が高まった」（平均30%上昇）と回答した。市内企業であるキャタピラー・ジャパンの全面的な協力の元、事故やケガもなく終えることができた。実験や、実際に働いている女性社員から話を聞くことで、自分のキャリアをより具体的に考えることができ、また他校の生徒と一緒にいることで、新たな交流が生まれた。

女性応援ハンドブック

「パパたこと学ぶ！みんなの

ワーク・ライフ・バランス」の発行

ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、市内・市外事業所の取り組みや助成金制度などを紹介する冊子を作成した。

読者により身近に感じてもらうため、明石市のゆるキャラである

「パパたこ」を使用。4コマ漫画も掲載するなど、工夫を凝らした。

